



みむろの風Ⅱ

八代市立第八中学校
令和8年7月17日
第6号 文責 坂本太郎

学校教育目標 「生徒の夢を育み、生徒と地域の未来を創造する学校」

1学期が終了しました！ 命を大切に、充実した夏休みに

本日7月17日、1学期の終業式を迎えることができました。計画された学校教育活動が滞りなく実施でき、無事に終了することができました。その中で多くの成果と子供たちの成長を感じることができました。様々な活動の中で、一人一人にそれぞれの成長があったのではないかと思います。1学期の終わりという節目に当たり、1学期を客観的に振り返り、よかったこと、頑張ったこと、改善すべきことなどしっかりと振り返し、これからの生活に生かしてほしいと思います。

また、明日から8月27日(木)まで夏休みに入ります。夏休み期間中、部活動や駅伝の練習、学習会、体育大会に向けての準備など様々な活動があります。3年生は三者面談、1、2年生は教育面談も予定されています。また、高等学校等のオープンスクールや学校説明会も行われます。3年生は進路決定に向けての心構えと今後の進路選択に向けての準備を行って下さい。夏休みは、よく学び、よく遊び、メリハリのある充実した生活を送ってほしいと思います。最後にこれだけは絶対に守ってください。それは、事故防止や安全・安心な生活を心掛け、命を大切にすることを第一に考えた生活を送ってほしいということです。8月28日(金)の2学期始業式には61人全員が元気に登校してほしいと願っています。



働くことの厳しさやりがいを学んだ「職場体験学習」



2年生は7月7日～9日まで職場体験学習を行いました。宮地地域を中心に、八代市内8つの事業所の皆様にご協力をいただき、望ましい職業観の育成を目的に実施しました。また、職場体験を実施するにあたり7月2日に、ハローワーク八代から講師をお招きし、職業講話を実施しました。事前学習の一環として、働く上での心構え等について話していただきました。職場体験は、3日間午前中のみの実施でしたが、学校を離れ、違った環境で働くことの意義や厳しさ、やりがいなどたくさんのことを学びました。ご多用な中、生徒を受け入れていただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。



1学期の人権部落問題学習を振り返る「人権集会」を開催

7月13日(月)、校内人権集会を開催しました。6月の「いじめ根絶月間」の取組を振り返り、人権部落問題学習での学びを全校生徒で共有する事で、一人一人の人権感覚を高め、部落差別をはじめあらゆる差別をなくすために行動できる力を育成することを目的に、毎年この時期に実施しています。

人権集会は、人権委員会のメンバーが中心となって運営され、はじめに人権委員長の春崎さんのあいさつの後、いじめ根絶月間で取り組んだ標語について、各学年からそれぞれ2点が選出され、作成者の思いや願いを発表してもらいました。次に、各学年代表生徒2名が、1学期に取

組んだ人権部落問題学習の紹介と授業を通しての感想発表がありました。最後に、今回のワークショップとして「全員が安心して学校生活を送れるためにできること」をテーマに、縦割り班のグループで意見交流を行いました。それぞれのグループにおいて3年生を中心に、和気あいあいとした雰囲気のなか、自分は何ができるのかなど、しっかりと話し合いが行われていました。

